



校長だより

日中丸



第8号
R1. 6. 14

日間賀中学校長
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さん が作成

第7回日間賀サミット 6.11(火)

日間賀サミットが行われました。平成28年から、毎年2回開催しており、今回で7回目となりました。第1回の際に小学6年生だった生徒は中学3年生となりました。生徒会執行部と相談の結果、今回のサミットでは、これまでの活動をふり振り返りつつ、島の将来について語り合う場としました。テーマは、「3年間の活動を振り返り、これからの日間賀島に対する気持ちで大切にすることを議論しよう」です。話し合いの中では、「ゴミのないきれいな島」「多くの観光客でにぎわう島」「温かくふれあいのある島」という言葉が多く交わされていました。そして、何よりも、「島が好きだ」という想いが溢れている話し合いとなりました。とてもすてきな時間となりました。

島内のたくさんの団体からご参加いただきました。ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。



「日間賀サミット」に向けて 6.10(月)

サミットの前日には、サミットに向けて各学級で事前学習が行われました。各学級で活発な話し合いが行われました。この話し合いを受けて、級長がサミットに参加しました。すべての生徒が、島の現状や将来、そして、自分自身の生き方について考えるよい機会となりました。



朝会より 6.10(月)

生徒発表（6月のテーマ：島の将来について）

鈴木連央さん（1年）

僕はこの島が大好きです。だから、島の将来が気になります。今、僕が思うのは、見えない場所にゴミがたくさんあるのでけっこう汚いと思います。僕は、この島を「汚い島」と言われたくないので、きれいにしたいです。けれど、一人の力では当然無理なので、クリーン活動などで、みんなで少しずつでもきれいにしていきたいです。そして、その行動を見た人たちが外にゴミを捨てるのをやめようと思ってくれば、ゴミがなくなり、島がきれいになります。そして、島の方も参加してくれば、よりきれいになります。

僕が大きくなって島を出て帰ってきたときには、ゴミがなく、きれいな島になっているとうれしいです。

鈴木湊さん（2年）

僕は、この島の将来について思うことがあります。

1つ目は、行事についてです。ぎおん祭りやたこ祭りなどのにぎわっている行事がたくさんあります。それらを、10年後も続けてやっていきたいです。

2つ目は、ゴミについてです。日間賀島にはまだゴミがたくさんあります。だから、それをなくせるようにしていきたいです。

今できることは行事などに積極的に参加したり、日間賀サミットなどで自分が思っていることを言ったりすることだと思います。また、和太鼓もあるので、それをがんばってやっていきたいと思います。そして、大人になったら、行事などの手伝いをやっていきたいと思います。

校長の話

こんな話をしました。

土曜日に町大会が行われました。今、表彰した人たちにとっては、練習の成果を発揮することができた結果だと思います。よくがんばりましたね。試合の結果は結果として受け止めなければならないと思いますが、それぞれの部が、今一度、できたこととできなかったこと、そして、今後どうしていくのかを整理し、今後の練習につなげていきましょう。その成果を、7月の郡大会で発揮してほしいと思います。ただ、先週も話しましたが、練習の成果を発揮するためにも、普段から「やるべきことはやる やった方がいいと思うこともやる やっちゃいかんことはやらない やらん方がいいと思うこともやらない」を意識した学校生活を送りましょう。「もう1点」、「ここ1本」というときにしっかりと力を発揮できるはずで、郡大会まで、残り1か月と少しです。特に3年生は、悔いの残らないようがんばりましょう。